



平成26年12月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

平成26年8月12日

上場会社名 **大和重工株式会社** 上場取引所 東証二部
 コード番号 5610 URL <http://www.daiwaijuko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 保昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 桑田 豊幸 TEL (082) 814-2101
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	2,534	7.6	102	293.5	148	128.8	134	136.7
25年12月期第2四半期	2,354	△ 1.5	26	△ 31.9	64	△ 19.2	56	△ 25.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	9.93	-
25年12月期第2四半期	4.19	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	6,144	2,676	43.5	197.49
25年12月期	6,089	2,542	41.8	187.60

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 2,676百万円 25年12月期 2,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年12月期	-	0.00	-	-	-
26年12月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、定款において期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年12月期の業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,500	△ 1.5	70	114.7	160	30.9	160	52.4	11.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期 2 Q	13,580,000株	25年12月期	13,580,000株
② 期末自己株式数	26年12月期 2 Q	29,801株	25年12月期	28,633株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期 2 Q	13,550,872株	25年12月期 2 Q	13,552,220株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善や個人消費、雇用情勢の回復等が見られ比較的順調に回復基調で推移しました。しかしながら、消費増税前の駆け込み需要の反動や海外景気の下振れ懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような厳しい経済環境のもと、当社は積極的な営業活動を展開し新規取引先の獲得や多様化する取引先ニーズへの対応力強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、25億34百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益1億2百万円（前年同期比293.5%増）、経常利益は1億48百万円（前年同期比128.8%増）、四半期純利益は1億34百万円（前年同期比136.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〈産業機械関連機器〉

工作機械鋳物部品の分野は、内需においては、市況改善などで設備投資が幅広い業種に広がり、外需は北米の好況に加え、中国ではスマートフォン向けの連続大口受注があり、好調を維持しております。

日本工作機械工業会による平成26年1月から6月の受注累計実績は、前年同期比35.5%増となっております。同期間の当社の工作機械鋳物部品の受注実績も前年同期比9.6%増となっております。

ディーゼルエンジン鋳物部品の分野は、当社では、大型ディーゼルエンジン用の部品の受注が増加し、前年同期比58.6%増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は13億92百万円（前年同期比30.2%増）、受注高は12億87百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

〈住宅関連機器〉

住宅関連機器部門におきましては、新設住宅着工戸数が、平成24年9月以降連続で前年同月の水準を上回るなど、消費マインドの改善等も見られましたが、平成26年3月からは、前年同月の水準を下回るようになりました。消費増税の影響も見られ、新設住宅着工戸数は、低水準で推移しております。

こうした状況の中、新規取引先の開拓や提案型セールスに徹し、業容の拡大に努めた結果、当社の主要商品であります「鋳物ホーロー浴槽」の拡販は好調に推移しております。

その結果、当セグメントの売上高は11億42百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、61億44百万円となり、前会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。

この主な要因は、現金及び預金が76百万円減少、商品及び製品が61百万円減少、また仕掛品が73百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が3億11百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、34億68百万円となり、前会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。

この主な要因は、支払手形及び買掛金が89百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、26億76百万円となり、前会計年度末に比べ1億33百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が1億34百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ76百万円減少して、4億53百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、67百万円（前年同四半期は31百万円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少による支出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、0百万円（前年同四半期は23百万円の収入）となりました。これは主に有形・無形固定資産の支出が39百万円ありましたが、投資不動産の賃貸による収支が42百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、10百万円（前年同四半期は1億28百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に公表いたしました平成26年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年8月12日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	950,782	873,976
受取手形及び売掛金	1,388,227	1,699,706
商品及び製品	468,646	406,665
仕掛品	104,738	31,643
原材料及び貯蔵品	182,968	177,232
前払費用	1,480	2,027
未収入金	10,145	10,497
その他	888	1,050
貸倒引当金	△1,000	—
流動資産合計	3,106,877	3,202,800
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	486,093	472,947
機械及び装置(純額)	344,636	315,286
土地	372,873	372,873
その他(純額)	108,603	107,609
有形固定資産合計	1,312,206	1,268,716
無形固定資産	11,496	15,235
投資その他の資産		
投資有価証券	1,458,846	1,462,678
投資不動産(純額)	147,541	144,939
その他	65,967	64,006
貸倒引当金	△6,866	△6,579
投資損失引当金	△7,000	△7,000
投資その他の資産合計	1,658,489	1,658,043
固定資産合計	2,982,192	2,941,995
資産合計	6,089,070	6,144,795

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	849,122	759,727
短期借入金	1,640,774	1,636,212
未払法人税等	19,237	15,601
賞与引当金	16,000	18,000
その他	242,105	245,038
流動負債合計	2,767,239	2,674,579
固定負債		
長期借入金	141,090	135,600
繰延税金負債	221,180	223,485
退職給付引当金	299,157	315,011
役員退職慰労引当金	45,137	46,862
資産除去債務	16,924	17,091
長期預り敷金	56,115	56,115
固定負債合計	779,605	794,167
負債合計	3,546,844	3,468,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,285,533	1,420,077
自己株式	△5,123	△5,269
株主資本合計	2,085,783	2,220,181
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	456,441	455,867
評価・換算差額等合計	456,441	455,867
純資産合計	2,542,225	2,676,048
負債純資産合計	6,089,070	6,144,795

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,354,678	2,534,522
売上原価	1,974,753	2,056,570
売上総利益	379,925	477,951
販売費及び一般管理費	353,836	375,296
営業利益	26,088	102,655
営業外収益		
受取利息	63	59
受取配当金	9,266	10,497
受取地代家賃	52,386	52,190
その他	9,788	3,670
営業外収益合計	71,506	66,418
営業外費用		
支払利息	13,426	10,693
不動産賃貸関係費	9,532	9,356
その他	9,811	684
営業外費用合計	32,771	20,735
経常利益	64,823	148,338
特別利益		
固定資産処分益	—	92
償却債権取立益	5	—
特別利益合計	5	92
特別損失		
固定資産処分損	153	179
特別損失合計	153	179
税引前四半期純利益	64,675	148,251
法人税、住民税及び事業税	7,838	13,708
法人税等合計	7,838	13,708
四半期純利益	56,836	134,543

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	64,675	148,251
減価償却費	91,261	78,991
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,286
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,000	2,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,623	15,854
前払年金費用の増減額 (△は増加)	9,697	3,049
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,725	1,725
受取利息及び受取配当金	△9,330	△10,557
支払利息	13,426	10,693
有形固定資産処分損益 (△は益)	0	86
投資不動産賃貸収入	△48,981	△48,981
投資不動産賃貸費用	9,506	8,905
売上債権の増減額 (△は増加)	△213,069	△311,478
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,636	140,810
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,331	△89,395
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,380	16,003
その他	35,953	△12,171
小計	39,562	△47,498
利息及び配当金の受取額	9,290	10,514
利息の支払額	△13,319	△11,349
役員保険積立金の増減額 (△は増加)	△1,584	△1,585
法人税等の支払額	△2,813	△17,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,136	△67,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	125,000	120,000
投資有価証券の取得による支出	△1,500	△2,100
有形固定資産の売却による収入	—	92
有形固定資産の取得による支出	△20,808	△33,731
無形固定資産の取得による支出	△299	△5,740
投資不動産の賃貸による収入	48,981	48,981
投資不動産の賃貸による支出	△6,743	△6,727
その他	△632	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,998	951
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△128,316	△110,052
その他	△86	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,402	△10,197
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△73,266	△76,806
現金及び現金同等物の期首残高	537,724	530,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	464,458	453,976

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。